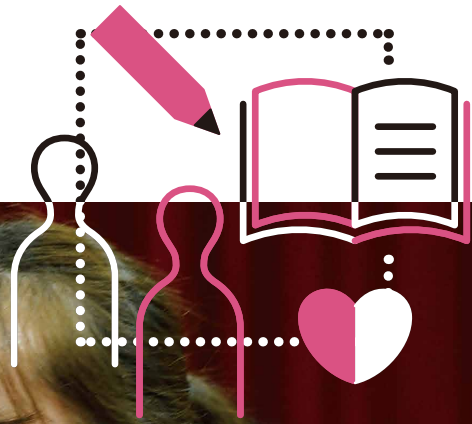


人間発達文化学類



子どもたちに寄り添い、成長を支える学校教員や、
文化を通じて、地域の人々を支える人を養成します。

- 教育実践コース
- 心理学・幼児教育コース
- 特別支援・生活科学コース
- 芸術・表現コース
- 人文科学コース
- 数理自然科学コース
- スポーツ健康科学コース

Admission Policy

こんな人に学んでほしい

- 保育士・幼稚園や小学校・中学校・高校・特別支援学校の先生になりたい人
- わかりやすく教えられる先生になりたい人
- 人間の心理や行動の不思議について学びたい人
- 現代生活に関わる衣食住や生活経営について学びたい人
- 音楽や美術について学びたい人
- 日本・アジア・欧米の言語や文学について学びたい人
- 地域や世界の地理・歴史・経済・社会・思想について学びたい人
- 数理科学や自然科学について学びたい人
- スポーツ科学や健康科学について学びたい人

取得できる教員免許・資格

- 幼稚園教諭一種免許状
- 小学校教諭一種免許状
- 中学校教諭一種免許状
(国語/社会/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科※1)
- 高等学校教諭一種免許状
(国語/地理歴史/公民/数学/音楽/美術/保健体育/家庭/英語/理科※1)
- 特別支援学校教諭一種免許状※2
- 社会教育主事(基礎資格)※3・社会教育士
- 保育士※4
- (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者※5
- 社会福祉主事(任用資格)※6
- 公認心理師※7

※1 理科については他学類で開講されている授業の単位を取得する必要があります。
※2 特別支援学校教諭の免許状は単独では取得できず、小学校、中学校、高等学校及び幼稚園教諭免許状のいずれかを併せて取得しなければなりません。
※3 必要単位を修得し、卒業後1年以上の社会教育主事補あるいは5年以上の学校教員などの教育関係職に従事することが必要です。
※4 15名の定員があります。心理学・幼児教育コースに所属する学生のみ取得可能です。他のコースに所属する学生は取得できません。同時に取得可能な免許は幼稚園と小学校の教員免許のみです。
※5 指定する科目を修得することにより「スポーツリーダー」資格を取得できます。また各種スポーツ指導者資格の取得に必要な講習の免除資格が、指定された科目を修得することにより取得できます。この制度は、スポーツ健康科学コースに所属する学生が対象となります。
※6 必要単位を修得し、卒業後、地方公務員として任用され、福祉事務所などの部署に配属される必要があります。
※7 国家資格「公認心理師」の受験資格取得に必要な科目を開講します。公認心理師の受験資格取得に必要な学類の科目を全て履修するためには、心理学・幼児教育コースに所属する必要があります。また保育士資格や教員免許を同時取得することはできません。実習先の受け入れ可能数を超える場合には選考することがあります。最終的な受験資格取得のためには、大学卒業後に大学院への進学または認定施設での実務経験が必要となります。
なお、編入学・学士入学で入学された方は、公認心理師の資格取得は出来ません。

卒業後の進路

- 保育士
- 幼稚園教員
- 小・中・高校教員
- 特別支援学校(盲学校・聾学校・養護学校)教員
- 社会教育主事
- 児童館専門員
- 学童保育指導員
- 塾講師
- 国家公務員
- 地方公務員
- 専門コンサルタント
- 医療・福祉関連
- 一般企業
- 英会話講師
- NGO職員
- 銀行員
- SE、マスコミ・出版業
- 旅行・サービス業
- 不動産業
- 商社・企業(国際交流・海外事業担当)
- 社会人教育サービス
- 大学院進学 など
- 音楽教室講師
- 音楽サークル指導者
- イベント企画者
- 劇伴・コマーシャル音楽制作者
- 印刷・広告業
- イラストレーター
- インテリア用品デザイナー
- スポーツ選手
- スポーツ指導者
- フィットネスクラブ
- マスコミ・出版業(スポーツ分野)
- スポーツマネジメント業
- 健康増進産業 など



学類紹介MOVIEをチェック！



Curriculum カリキュラムの特長

コース専門プログラム制による確かな学力と実践的な応用力の形成

人間発達文化学類では、生涯にわたる人間の発達を個人・社会・文化との関わりにおいて支援していく人材の養成を目指しています。学類生は、自らの興味・関心や目指す進路に応じて、1年次からいずれかのコースに所属し、各コースの用意するプログラムを選択して学んでいきます。それにより、専門に関する確かな知識・技術と実践的な応用力を身につけることができます。公認心理師および保育士・幼稚園教員は心理学・幼児教育コースで、特別支援学校教員は特別支援・生活科学コースで、小学校・中学校・高等学校教員は全コースで養成しています。

1年次		2年次		3年次		4年次	
第1セメスター		第2セメスター		第3セメスター		第4セメスター	
第5セメスター		第6セメスター		第7セメスター		第8セメスター	
発達・文化のリテラシー（基礎・基本）を学ぶ 学びのプログラムを選択する		発達・文化の専門的な知識・技術を学ぶ 問題解決型学習の基礎を学ぶ		自ら課題を立て、専門的知識・ るなかで、専門的知識・技術の		技術を活用して課題を解決す 実践力を身につける	
専門的知識・技術をさらに深めるとともに、 学びの集大成である卒業研究を完成させる							
学類・教養科目		コース専門科目以外の学類科目を履修することで、発達・文化に		関する学びの幅を広げる		卒業研究科目	
卒業研究基礎演習		卒業研究演習		プレゼンテーション演習		卒業論文	
教育実践コース		心理学・ 幼児教育コース		特別支援・ 生活科学コース		芸術・表現コース	
■日本教育史 ■教育課程論		■社会科学習指導論 ■子どもと特別活動		■教育と社会 ■数学科教育法Ⅰ・Ⅱ		■国語科教育法Ⅳ ■生活科学習指導論	
■知覚・認知心理学 ■社会・集団・家族心理学		■障害者・障害児心理学 ■保育内容（人間関係）		■保育内容（環境） ■司法・犯罪心理学		■公認心理師の職責 ■保育カリキュラム論	
■知的障害者教育課程論 ■知的障害者の行動観察とアセスメント		■重複障害・軽度発達障害教育総論 ■食物学		■生活経営学 ■知的障害者学級経営論		■知的障害者の心理・生・病理 ■人間と衣服	
■器楽演奏研究 ■彫刻		■指揮法研究 ■絵画		■音楽史 ■映像メディア論		■声楽アンサンブル ■美術史	
■日本古典文学演習 ■日本語の変異		■自然災害と人間 ■日本史史料講読		■英語学概論 ■初期近代英米文学		■英語学演習 ■英米文学演習	
■代数学Ⅱ ■幾何学Ⅱ		■確率論・統計学 ■理科学習指導論		■理科の実験指導 ■代数学続論		■幾何学続論 ■物質化学	
■スポーツ運動学 ■スポーツと文化		■体力トレーニング ■スポーツ政策論		■運動処方 ■健康科学演習		■野外活動 ■生理学	
■スタートアップ科目 ■ライフマネジメント科目		■外国語コミュニケーション科目					
■学術基礎科目 ■健康・運動科目 ■情報科目		■外国語科目		■キャリアモデル学習 ■インターンシップ ■教職入門			
■問題探究セミナーⅠ		■問題探究セミナーⅡ					
■問題探究科目 ■自主学修プログラム							
自らの興味・関心にしたがって、基盤教育及び学類内外の科目から選んで履修する							



学類長メッセージ

人間に関する学びを深め、
自分を実現する学修を

本学類が研究対象とする「人間発達」とは、人間の誕生から死までのすべての期間を表します。また、「文化」は人間社会の基盤を形成するものです。つまり、人間発達文化学類は人間とそれが形成する社会そのものを研究対象とし、そのために役立つことのできる人間の育成を目指しているのです。この目的を達成するためには、非常に幅広い分野の学修が不可欠です。本学類では人文・社会・自然の諸分野を網羅する、幅広いカリキュラムが構成されています。皆さんは自分の学修したい分野、進みたい進路に合わせてコースを選択し、その中でさらにある分野に特化したプログラムを選択して専門性を深めることができます。自分を実現するための学びを深める、積極的な学修を期待します。

人間発達文化学類長 初澤 敏生 教授

教員紹介 ※2022年4月1日現在

教育実践コース

植田 啓嗣 (教育学、比較教育学)
太田 孝 (国語科教育学)
大橋 淳子 (学校経営)
小川 裕 (音楽科教育における指導法の追究)
菅家 礼子 (質の高い身体教育の探究)
坂本 篤史 (授業研究、教師論)
耕田 悠男 (社会科教育の実践的研究)
鈴木 昭夫 (理科教育)
谷 雅泰 (日本教育史、近代学校の起源)
中田 スウラ (社会教育学・教育社会学)
鳴川 哲也 (学習指導法の研究と教材開発／理科教育)
松下 行則 (道徳科授業論)
森本 明 (算数・数学の授業とカリキュラムの構成に関する研究)

心理学・幼児教育コース

安部 郁子 (児童虐待やDV被害者等、様々な困難を抱える人たちの支援)
市川 英雄 (福祉領域における心理支援)
斎藤 美智子 (保護者支援・保育内容)
生島 浩 (少年非行・犯罪に関わる家族への援助実践)
住吉 チカ (認知心理学、認知機能障害、及び認知機能の発達)
高谷 理恵子 (乳幼児の身体制御に関する発達)
富永 美佐子 (青年期の進路発達とその支援)
原野 明子 (幼児の仲間関係の発達)
飛田 操 (人間関係と集団についての心理学)
保木井 啓史 (集まりの場面での子どもと保育者の相互作用、保育者の専門性)

特別支援・生活科学コース

小椋山 宗浩 (特別支援教育における教育環境の整備)
角尾 陽子 (家庭科教育の研究、生活経営学)
片寄 一 (特別支援学校の教育に関する実践的研究)
高橋 純一 (能力の多様性と障害理解、障害児・者の見え方と感性方)
千葉 桂子 (快適で安全な衣服のデザインと機能)
千葉 義伍 (食品成分とその関連酵素の研究)
鶴巻 正子 (発達障害児の読字・書字への支援)
中村 恵子 (調理のコツとおいしさについて)

芸術・表現コース

新井 浩 (彫刻制作、彫刻教材の研究)
今尾 滋 (声楽・オペラ)
加藤 奈保子 (西洋美術史・美学)
杉田 政夫 (音楽科教育の理論的、実践的研究)
中畑 淳 (器楽、ピアノ演奏法、作品解釈研究)
横島 浩 (作曲、楽曲分析研究)
渡邊 晃一 (絵画、現代美術、制作学)
渡部 憲生 (図画工作科・美術科教育)

人文科学コース

朝賀 俊彦 (言語の仕組みについての研究)
飯嶋 良太 (言語芸術、特に英語・北米のもの)
井実 充史 (日本古典文学、古典教育)
小野原 雅夫 (戦争と平和の倫理学、科学技術と環境の倫理学)
鍵和田 賢 (ドイツ近世史、ヨーロッパ宗教社会学)
川田 潤 (主に英語圏の文化の研究)
小松 賢司 (日本近世史)
佐久間 康之 (外国語活動・英語教育と心のメカニズム)
佐藤 佐敏 (国語科教育学、学習指導論)
佐藤 元樹 (理論言語学、統語論、意味論)
池澤 尚 (漢文学、漢学文化、古代文学・思想・神話、本草学)
高木 修一 (美術・デザインのかたまりを築く英語リストを構築する)
高田 英和 (イギリス文学、文化研究)
高橋 優 (ドイツ・ロマン主義の文学と思想)
高橋 由貴 (日本近代文学・比較文学)
中村 洋介 (自然災害科学・防災教育)
野木 勝弘 (社会科教育学)
初澤 敏生 (地域文化構造の調査と分析)
半沢 康生 (日本の方言の研究)
牧田 実 (コミュニティとまちづくり)

数理自然科学コース

瀧口 和也 (和算の研究)
中田 文憲 (微分幾何学)
平中 宏典 (ICTを活用した理科教育、地域教育を活かした地学教育)
水澤 玲子 (島嶼生態学、植物の繁殖生態学)
村上 正義 (小学校理科教育)
和田 正樹 (解析学、確率論)

スポーツ健康科学コース

小川 宏 (体育・スポーツの意義と目的)
川本 和久 (陸上競技、トレーニング構成論)
杉浦 弘一 (スポーツと健康の医科学)
竹田 隆一 (武道の独自性と国際化)
蓮沼 哲哉 (スポーツ社会学)
松本 健太 (体育科教育学・スポーツ教育学)
本嶋 良恵 (スポーツバイオメカニクス)
安田 俊広 (骨格筋の疲労と損傷のメカニズム)

学類附属 学校臨床支援センター
学校連携部門

教育相談部門

青木 真理 (臨床倫理学、教育臨床学)
岸 竜馬 (精神分析的な心理療法・精神病理)

現職研修部門

宗形 潤子 (生活科における実践的研究)
高野 孝男 (特別活動と学級経営の研究)

専門知識・技術と実践的な応用力を身につける 7つのコース



主体的で実践的な学びを通して、 「成長を支えられる人」を目指します

「人の成長を支える専門家を育てる」ことを目標に、人間の発達を支援する教育や文化に関する基礎的・専門的知識、技術を学びます。それらを基盤に、社会における現代的、地域的課題解決に、実践的に取り組むことのできる

人を養成します。学類生は、1年次から7つのコースに所属し、学類基礎、学類専門、学際・教養、卒業研究のカリキュラムを通じて学んでいきます。また、より深い学びと経験ができるコース専門プログラムを設置しています。

Pick Up!



1年前期

自然体験実習

伝える力、聴く力、そして企画力が身につく。

小中学生が参加する「自然体験学校」を企画運営します。8月の本番に向けて、仲間とともに企画を考え、話し合い、準備する中で、考えを伝える力や聴く力、企画力が身につく、子どもとの関わりのイメージがつかめるとともに、多くの仲間を得られます。



2年前期～

学校教育支援実習

教員としての資質能力を高める。

学校現場で教員の実務の補助にあたり、実践的指導力を養い、学校理解を深めます。2年次では3年次の教育実習への準備、3・4年次では教育実習で身につけた知識や技能を活かし、教員としての資質能力を高めます。教職登録をした2年生以上が対象です。



3年前期～

教育実習

培った理論を実践力につなげる。

教師を目指す人にとって必修の科目。理論を知っているだけでは教師は務まりません。理論を実践力として働かせる必要があります。理論を実践力につなげていく最初の学びの場が「教育実習」です。4週間、幼稚園や学校に通って学びます。

教育実践コース

教育実践コースは、学校教員になることを目指す学生が中心になるコースです。学校現場は社会・地域の変化など複雑な環境に晒されています。その中で子どもの学びを支え、確実な成長を助ける教員が求められています。本コースでは学校教員として求められる実践力をつけることを目指します。

主な科目

- カリキュラム・教育方法論
- 生涯学習論
- 学校と教育の歴史
- 子どもと道徳
- 教育の方法・課程論A
- 国語科教育法
- 数学科教育法
- 社会科教育法
- 理科学習指導論
- 家庭科学習指導論
- 子どもの生活と遊び
- 子どもと自然



特徴的な学び

教育の方法・課程論A

これからの学校教育に向け、何をどのように教えるかについて広くかつ深く学びます。授業では、今まで受けてきた学校教育を教師側の視点に立って振り返りつつ、具体的な事例や文献資料を基にした学生同士での意見交流や話し合いを通して、自身の授業観を磨いていきます。



特徴的な学び

算数科学習指導論

算数科の学習指導に必要な基礎的・基本的な資質・能力を身につけます。小学校算数科の目的・目標、育成すべき資質・能力、学習指導の内容及び学習指導の方法について理解するとともに、指導案作成や模擬授業を通して、算数科授業を構成・実践できるようにします。

特別支援・生活科学コース

知的障害・肢体不自由・病弱などサポートを必要とする子どもの発達支援に関する理論や、家庭や地域に関わる生活科学の基礎について広く学び、実践を通して理解し身につけ、探究していきます。子どもたちの発達を支援し特別支援学校教諭を目指す人や、生活の基礎を学びたい人、家庭科教諭(小・中・高)を目指す人に向いています。

主な科目

- 特別支援教育概論
- 知的障害者の行動分析
- 病弱者の生理・病理・心理
- 知的障害者教育指導法
- 知的障害者教育課程論
- 食と健康
- 食生活論
- 衣服のデザインと機能
- 住生活学
- 家庭科教育法



特徴的な学び

特別支援教育概論

大学での学びを始めた主に1年生を受講対象として、「障害」に関する基礎的なことを広く学びます。障害特性や支援方法だけでなく、障害者政策など広い分野から「障害」に対してアプローチします。障害児・者に対する支援方法を学ぶだけでなく、受講生自身の障害理解も促したいと思っています。



特徴的な学び

生活経営学

「生活資源」の視点から、生活の質を生涯にわたって追求していくための知識とスキルを学びます。生活資源を活用して、個人の生活や地域・社会の問題解決を図るなど、生活経営力を高めるさまざまなアクティビティを取り入れながら、受講生が主体的・協働的に学びを深める実践的な授業を行います。

心理学・幼児教育コース

本コースは、人の行動・心理についての知見を得るとともに、実験・調査・観察などの科学的手法によって研究を行う心理学の分野と、乳幼児の発達を学びつつ、幼児期に相応しい経験とは何かを探る幼児教育分野で成り立っています。小学校教員や心理専門職(公認心理師・公務員心理職)、幼稚園教諭や保育士を目指す人に向いています。

主な科目

- 発達心理学
- 公認心理師の職責
- 産業・組織心理学
- 心理学演習・実習
- 教育・学校心理学
- 心理学統計法
- 社会・集団・家族心理学
- 保育原理
- 幼児発達心理学
- 保育カリキュラム論
- 保育内容(表現Ⅰ)
- 幼児と音楽
- 保育方法実践論
- 総合表現(劇)



特徴的な学び

心理学に関する学び

実験、観察、調査など各研究手法、及びデータを分析するための統計手法を学びます。これらの知識を活かして、人の行動や発達、集団行動などについて研究を進めていきます。さらに、公認心理師を目指す人は実習を通して、臨床的な技能も学んでいきます。



特徴的な学び

幼児教育に関する学び

幼児教育分野では、保育・幼児教育についてのこれまでの歴史や思想、制度等の幼児教育、子どもの発達等に関する理論を学びます。これら知識を活かして、保育現場で必要となる技術・技能を身につけ、実習や卒業研究等を通して、さらに研鑽を積んでいきます。

芸術・表現コース

芸術や表現の意義、本質を理解し、音楽や美術に関わる力量を理論的・実践的に身につけるための、芸術の薫り高いコースです。芸術表現者の育成とともに、芸術領域(音楽・美術)を活用できる学校教員(小・中・高)、さらにはアートコーディネーターといった芸術の力を地域で活かせる人材を育成します。

主な科目

- 子どもの音楽表現
- 作曲基礎
- 声楽演奏研究
- ピアノ演奏研究
- 音楽科教育法
- 器楽演奏研究
- 指揮法研究
- 子どもの造形活動
- 絵画
- 彫刻
- 工芸デザイン
- 美術史
- 芸術学
- 映像メディア論



特徴的な学び

素描

この授業では諸造形科目の基礎となる見方・考え方を学びます。現代のさまざまなメディアから発信される現代的イメージも押さえながら、優れた表現者・教育者に必要な事物の本質的把握、ならびに興味を持って事物に迫る探究心を養います。



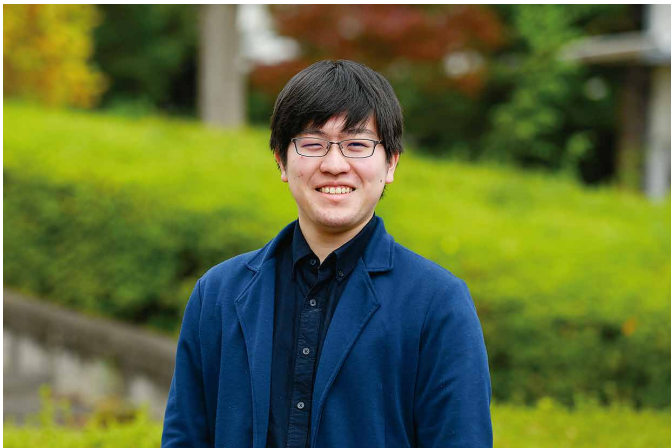
特徴的な学び

ピアノ基礎Ⅱ

この授業では、ピアノ演奏のための基本的な技術を学びながら、楽曲を仕上げていきます。また、伴奏法や鍵盤楽器の歴史もとりあげながら、楽曲の解釈研究やピアノによる演奏表現を深めていきます。

Interview 在学生に聞いてみました!

Q. 今、夢中で学んでいることは何ですか?



障がい個性として捉えることを伝えられる教師に

所属コースの専門科目である特別支援教育を学んでいます。小学生のころから、障がいのある方とふれあう機会がありましたが、まったく理解できていなかったと今は感じています。大学で障がい個性として捉えることで、すべての人がともに生活できることを学び、学校という環境の中で障がいに対する理解を深めることで、社会の中の見方が変わっていくと思うようになりました。このことを伝えられる教師を目指し、今は仲間と切磋琢磨する毎日です。福島大学は、地域に根ざした教育も学べるので、1つでも多く吸収したいと思っています。

特別支援・生活科学コース 4年
〔福島県立安積高等学校出身〕

井上 孝太郎さん

保育の奥深さを実感する毎日です

福島大学では保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の免許が取得できるので、幼小連携に強い教員を目指せると思い、入学を決めました。現在は、乳幼児の人間関係について特に興味を持って学んでいます。子どもの発達段階、保育の本質に触れ、保育の奥深さを実感する毎日です。実習で子どもと触れ合い、保育者の方々から多くのことを学び、より子どもについて理解を深めたいという思いや保育者としての意識を強く持つようになりました。地域に根ざしたこの大学で学び、教育分野で地域社会に貢献できる人間になりたいと思っています。

心理学・幼児教育コース 4年
〔福島県立須賀川桐陽高等学校出身〕

五十嵐 のどかさん



人文科学コース

言語や文学、地域や社会のあり方、その歴史や思想など、文化について深く学ぶことができます。そのような学びを踏まえて、地域の文化を継承し、発展させていく力を養います。人文学諸分野の知識を活用した仕事に就きたい人、国語・英語・社会に強い小学校教員や、中学・高校の国語・英語・社会の教員を目指す人に向いています。

主な科目

- 漢字・漢文学概論
- 日本文学特講
- 英語学概論
- 英米文学史
- ヨーロッパ言語文化論
- 日本近代社会史
- 都市とまちづくりの地理学
- 現代社会と文化
- 国語科・英語科・社会科教育法

数理自然科学コース

身近な自然や先端的課題の中から数学や自然科学に関わる諸問題を見だし、それらを探究的に解決する学びを重ねていくことで専門性を高めていきます。社会において数学や自然科学に深く関わっていききたい人、算数や理科に強い小学校教員、中学・高校の数学教員を目指す人に向いています。

主な科目

- 行列とベクトル
- 基礎解析学
- 代数学
- 幾何学
- 確率論・統計学
- コンピュータ
- 数学科教育法
- 理科学習指導論
- 子どもと自然
- 物理学
- 物質化学
- 生命環境の科学
- 地球惑星の科学
- 地域理科実践演習Ⅰ・Ⅱ

スポーツ健康科学コース

最新のスポーツ理論と実践を通して、スポーツ技能の向上と指導力を高めるとともに、生涯にわたり健康で豊かなスポーツライフを送るための技能や専門知識を学ぶことができます。体育教員になりたい人、一流のアスリート、コーチを目指す人、さらにスポーツを通して地域に活力を与える仕事に就きたい人に最適なコースです。

主な科目

- 生理学
- 解剖学
- 生涯スポーツ論
- 運動処方
- スポーツと文化
- スポーツ政策論
- スポーツ運動学
- 保健体育科教育法
- コーチング論
- スポーツ医学
- 生涯スポーツ実習
- 健康科学演習
- コーチング演習
- スポーツ実技各種



特徴的な学び

言語文化や国語教育に関する学び

日本語学、日本文学（古典・近代）、漢文学、国語科教育学といった言語文化・言語教育（国語教育）について、文献を収集したり、実地調査をしたり、模擬授業をしたりして、その専門性を学びます。

特徴的な学び

外国語の言語文化や教育に関する学び

英語学、英語教育学、英米文学・文化、ドイツ文学・文化、異文化理解、英語コミュニケーション等について、文献調査やグループワークなどを通じて、その専門性を学びます。

特徴的な学び

歴史や地理や公民に関する学び

古文書や外国語文献から直接歴史を学んだり、現地で実際に調査することによって地理や経済や社会を学んだり、グループワークを通じて倫理について考えを深めたりしていきます。



特徴的な学び

解析学統論

高校で学んだ数列の極限や関数の連続性について厳密な定義を学びます。それにまつわる証明の方法や、関数列の極限などの新しい概念、それを踏まえた高度な計算の技術について学びます。

特徴的な学び

地域理科実践演習Ⅱ

小学校・中学校での理科教育を支えるため、地域にある身近な自然を活かした教材の開発手法を学び、学校や科学館等で実践する経験を通じて、子どもとともに理科の学びを創っていく資質・能力を身につけます。



特徴的な学び

体力トレーニング

体力を構成する3つの力：行動をおこす力（筋力・パワー）、行動を持続させる力（筋持久力・全身持久力）、行動を調整する力（バランス・巧緻性・敏捷性・柔軟性）について具体的なトレーニング方法を実践的に学びます。

特徴的な学び

スポーツ企画演習

受講生が地域の課題やニーズを調査したうえで、スポーツイベントを企画し、準備から当日の運営まで行う授業です。学外の団体や地域と連携しながら準備を進めていくことで、社会に必要な実践力を身につけていきます。



Q. 10年後の目標は何ですか？

どんなことにも 全力で向き合いたい

高等学校の国語科教員として、日々、生徒と一緒に学び、成長しています。大学ではたくさんのことを学びましたが、今は目の前にいる生徒と向き合うことに精一杯で、その学びを十分に活かすことができているという実感は、正直まだありません。それでも、いつかは「私は福島大学で学んだので」と、自信を持って答えられるよう、これからがんばっていききたいと思います。ですから、現時点では今後の目標を掲げるよりも、一日一日、笑顔を忘れずに、楽しいことも大変なことにも全力で向き合っていきたい。そんな心境です。

公立高等学校教諭
人間発達文化学類
文化探究専攻言語文化クラス 2019年卒業

俵藤 梨紗子さん

Interview

卒業生に
聞いてみました！

Q. 10年後の目標は何ですか？

10年後も、スポーツが 感動と活力を与える存在であるために

「テレサ」という体温記録活用アプリを開発し、スポーツの大会などを安全に開催いただけるよう、導入のご提案などを担当。日本で唯一の陸上チーム運営会社のフロントスタッフとして働いています。在学中は、地域活性化を目的としたイベントの運営に多く携わりました。この経験が、コロナ禍でもイベントを運営する力に繋がっていると感じます。10年後も、スポーツは人々に感動と活力を与える存在であるべきだと思っています。そのためにも、人々の生活を豊かにするしくみや企画を、地域とともに創り上げていきたいと思っています。

株式会社新潟アルビレックスランニングクラブ 勤務
人間発達文化学類スポーツ・芸術創造コース 2019年3月卒業

柳生 京佑さん